

はじめに

「大阪府環境白書2021年版」及び「おおさかの環境2021」は、2020年度（令和2年度）の大阪府の環境の状況や取り組んでいる施策について府民の皆様に分かりやすくお伝えするため作成しました。

2020年度は、大阪府の環境施策の推進において重要な計画を策定し、脱炭素社会の実現や循環経済への移行、プラスチックごみゼロといった長期の課題解決に向けた重要なスタートを切る年となりました。

2021年3月には2030年を目標年度とする「2030大阪府環境総合計画」を策定し、2050年のめざすべき将来像として「大阪から世界へ、現在から未来へ 府民がつくる暮らしやすい持続可能な社会」を掲げ、SDGsの観点を踏まえた「環境・社会・経済の統合的向上」など、2030年までの環境施策の方向性について整理しました。併せて、脱炭素・省エネ分野においては2030年の温室効果ガス排出削減目標を掲げた地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、資源循環分野における循環型社会推進計画、大阪府・大阪市が共同でプラスチックごみ対策に取り組む大阪ブルー・オーシャン・ビジョン実行計画など、重要な分野別計画を2020年度中に策定し、それぞれのめざすべき将来像の実現につなげていくための施策展開を始めています。

危機的状況といえる気候変動問題については、国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）が2021年8月に発表した報告書では、地球温暖化が起きていることだけでなく、地球温暖化が人間の影響で起きていることを、初めて「疑う余地がない」と評価し、今後数十年の間に温室効果ガスの排出が大幅に減少しない限り、21世紀中に地球温暖化は1.5℃及び2℃を超える と報告しました。国は2020年10月に表明した2050年のカーボンニュートラルの実現をめざすべく、地球温暖化対策計画を2021年10月に閣議決定し、脱炭素で強靱な活力ある地域社会の全国での実現をめざす 地域脱炭素ロードマップの取組みなどを推進するとしました。国及び世界でも危機感が共有され、取組みが加速していることを念頭に、巻頭特集では身近に迫る気候危機の状況と、脱炭素社会の実現に向けて無理なく実践できる取組みについて、わかりやすく紹介しています。

このような世界的、長期的な環境課題に対する動きを踏まえ、今後とも大阪府は、豊かな環境の保全と創造に取り組んでまいります。そのためには、行政はもとより、府民や事業者のみなさまと力を合わせて取り組むことが重要です。本書が、将来に向けてより良い環境づくりの一助となれば幸いです。

2021年12月

目次

巻頭特集

“気候危機” 私たちが変える大阪の未来 ～身近な行動からCO ₂ を削減～	1
--	---

序章 おおさかの環境の状況

おおさかの環境の状況	13
------------	----

第1章 計画的な環境政策の推進

1 環境基本条例等の施行	25
2 環境総合計画の推進	26
3 環境総合計画の進行管理	27

第2章 各分野において講じた施策

I 府民の参加・行動	29
II-1 低炭素・省エネルギー社会の構築	33
II-2 資源循環型社会の構築	40
II-3 全てのいのちが共生する社会の構築	46
II-4 健康で安心して暮らせる社会の構築（1）～良好な大気環境を確保するために～	49
II-4 健康で安心して暮らせる社会の構築（2）～良好な水環境を確保するために～	54
II-4 健康で安心して暮らせる社会の構築（3）～化学物質のリスク管理を推進するために～	60
III 魅力と活力ある快適な地域づくりの推進	64
IV 施策推進に当たっての視点	70
V その他（共通的事項）	74

※環境白書の全体版（環境関係データ、講じた施策事業の点検・評価（毎年度サイクル）等）は、「エコギャラリー～おおさかの環境ホームページ～」に掲載しています。

URL: http://www.pref.osaka.lg.jp/kannosuisoken/hakusyo/hakusyo_2021.html